

事業所における 自己評価結果（公表）

公表：令和 5年 10月 1日

事業所名 コペルプラス王寺教室

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		<ul style="list-style-type: none"> ・十分なスペースを確保している。 ・定員は超えていない。 	
	②	職員の配置数は適切である	5		<ul style="list-style-type: none"> ・余裕を持って配置されている。 	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5		<ul style="list-style-type: none"> ・各部屋ごとに動物の名前がついているが、それに対応した動物の絵も貼られていてわかりやすい。靴箱にも靴のイラストが貼られている。段差もなく一目で分かる間取りではある。 ・レッスン中保護者の姿が見えないよう、集中できる環境になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内は環境整備がなされているが、建物にEVがなく、事業所までは階段を使ってもらっており、バリアフリー化ができていない。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5		<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、清掃、消毒を行っている。教材は毎回消毒。余計な物を置かず、安全な空間になっている。 ・机上で課題をする部屋と体を動かす粗大運動用の大きな部屋がわかれている。活動によって使い分ける。 	

業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5		・全職員参加のカンファレンスがある。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		<ul style="list-style-type: none"> ・評価表の評価をふまえ、必要な際にはカンファレンスを行っている。 ・フィードバックで保護者と意見を交換し、悩みや感想など色々な意見を聞くことができています。 ・他職員に保護者の意向など共有し、都度話し合い改善に繋げている。 ・昨年度の評価表でペアトレができていなかったが、今年からペアトレを開始し、評価表を受けた上での改善ができています。 	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5		・HP で公開している。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	4		
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		<ul style="list-style-type: none"> ・社内や社外の研修を受講している。 ・様々な研修が定期的に行われているので、職員の資質向上に繋がると感じる。 	

				・本部開催の研修のうち、必要な研修は出席している。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	・保護者様作成の発達観察シートの情報も加味し、アセスメント結果を反映させた支援計画を作成している。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	・アセスメント教材は統一されている。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	・支援計画はガイドラインに則って子どもに必要な支援内容が選択されており、具体的に設定されている。	

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	・レッスン前に都度、支援計画を確認し、必要な支援を把握している。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	・会社で立案されているが、提案書を提出することで現場のニーズも反映される仕組みがある。 ・月末のコミュトレでは話し合い内容を決めている。 ・月末に行われるコミュトレ内容は子どもに合わせてプロ	

				グラムを設定している。	
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		<ul style="list-style-type: none"> ・前回と同じ取り組みにならないように教材や提供方法を工夫している。 ・子ども一人ひとりに合わせて内容を変えたり、工夫した点は職員間で共有したりしている。 ・教室間で毎月教材の入れ替えを行っている。 	
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している	5		<ul style="list-style-type: none"> ・考慮して組み合わせしている。 ・普段個別のみの方も月末に集団へ参加できる機会を設けている。 	
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		<ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルレッスンやコミュトレの際には特に職員間で綿密な打ち合わせを行っている。 ・毎朝朝礼にて必要事項の共有。 	
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・その日の様子を詳細な記録と口頭共有にて実施。 ・支援終了後、気づきがあれば教室長へ報告。カンファレンスが必要と思われることは後日全体へ共有。必 	

					要でなければ記録のみ。	
	⑱	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		<ul style="list-style-type: none"> ・一項目ごとに詳細に記録し、カンファレンスにて改善を実施している。 ・使用した教材、教材に対する反応、様子その他必要事項を記録している。 	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5		<ul style="list-style-type: none"> ・職員全員でカンファレンス実施。モニタリングを行って、支援の見直しに繋がっている。 	
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・対面で参加はしていないが、個別にやり取りがあり、情報共有はしている。 ・役所訪問に行っている。 ・会議への参加はしていないが、電話や対面で情報共有を行っている。 	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5		<ul style="list-style-type: none"> ・役所の子育て支援関係者と連携を取っている。 	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	1	2		・対象のお子様がないため未実施。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)	1	2		・対象のお子様がないため未実施。

	子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5		<ul style="list-style-type: none"> ・希望に応じて連携をしている。必要性を感じる場合は、保育所等訪問支援事業の案内を行っている。 ・入園時、情報共有をしたり、園へ訪問したりしたことがある。 	
②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・希望する方があれば、情報共有している。 ・必要と思われる保護者と相談し、情報共有を行ったことがある。 	
②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	4		他教室（コペルプラス内）との連携はあるが、他事業所との連携はない。
②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		5		

②⑨	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		5		
③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		<ul style="list-style-type: none"> ・毎回、保護者に対してフィードバックを行っており、保護者からの意見も反映させている。 ・フィードバックで話した内容など必要事項は記録として 	

				残し、他職員へ共有している。	
	⑳	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	5	<ul style="list-style-type: none"> ・コンスタントに実施している。 ・毎月ペアトレを実施。 ・月の中の1週間をペアレントトレーニング週間とし、希望者に対して実施している。 	
保護者への説明責任等	㉑	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	・児童発達管理責任者が保護者と契約時に読み合わせを行っている。	
	㉒	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	・児童発達管理責任者が説明し、同意のサインをいただいている。	
	㉓	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	<ul style="list-style-type: none"> ・レッスン中に相談を受け、必要であれば面談を実施して助言や支援をしている。 ・日々のレッスンの際に様子を伺い必要であれば面談をしている。 	
	㉔	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアトレを集団で実施した際に支援できていると思う。 ・ペアトレで希望時間が合えば複数人での同時参加とし、保護者間で話をする機会となる。 	・保護者会などは開催していない。
	㉕			1	

	⑩	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5		<ul style="list-style-type: none"> ・常時受け付ける体制を整えている。 ・申し入れがあれば、来所いただいた際に対応する時間を確保している。 	
	⑪	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・HP やブログ、Instagram など発信している。 ・SNS や教室だよりなど様々な媒体を通して発信することができる。 ・子ども、保護者向けではないが、毎月教室の情報をまとめて、外部へ発送している。 	
	⑫	個人情報の取扱いに十分注意している	5		<ul style="list-style-type: none"> ・鍵付きの書庫にて保管。 	
	⑬	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		<ul style="list-style-type: none"> ・個性に応じた声掛けや環境設定を行っている。 	
	⑭	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	4		
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5		<ul style="list-style-type: none"> ・訓練計画を作成し、実際に訓練を行っている。 ・安全計画を作成し、定期的に避難訓練を行っている。 ・教室にマニュアルのファイルを作成し、いつでも保護者が見れるように 	

					本棚に置いている。	
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出 その他必要な訓練を行っている	5			
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこ どもの状況を確認している	5		・アセスメントシート などで確認を取る ようにしている。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指 示書に基づく対応がされている	1	2	・アレルギーの把握 はしている。	・食事提供をしていないた め、未実施。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有し ている	5		・更に事例があった 際はカンファレンス を行い共有してい る。 ・発生した事例内 容をまとめて共有 し、二度と怒らない ように努めている。 ・事例があれば教 室内で確認し、本 部に内容を提出し ている。	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保す る等、適切な対応をしている	4	1	・全職員で研修を 受けている。 ・虐待防止研修に 参加。	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかにつ いて、組織的に決定し、子どもや保護者に事 前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達 支援計画に記載している	5		・契約時に児童発 達管理責任者が 保護者の説明し、 了承のサインをい ただいた上で支援 計画に掲載してい る。 ・契約時に丁寧な 説明を行っている。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。